

勤続 35 年を振り返って

一般教育機構教授 平口 哲夫

このたび 35 年勤続の表彰をいただき感無量です。この間の思い出は尽きませんが、今回は本学に深く感謝している事々から一つ選んで紹介させていただきます。

平成 16 年 4 月 7 日夜の遅い時間帯に自宅で食事中、いきなり右腕の力が抜けてしまい、救急車で本学病院の救急医療センターに運び込まれて検査、脳梗塞と診断され即入院となりました。翌朝、病室のベッドの上で右腕を上げてみますと、指には力が入らないけれども、腕自体はどうか動かすこと



ができましたので、これなら大したことなく回復できそうだと思いました。

とはいえ、当分入院していなければいけませんので、第 1 学年の宿泊研修や第 1 学期授業の担当は外させていただきました。お蔭様で二十日間ばかりで退院し、5 月のゴールデンウィーク明けには職場復帰。また、5 月 30 日に高知県室戸市で開催された第 3 回日本伝統捕鯨地域サミットに参加し、パネリストを担当。さらに、7 月 3・4 日に石川県立生涯学習センターで開催された日本海セトロジー研究会第 15 回大会を、研究会代表・大会会長としてお世話することができました。8 月の盆過ぎには車の運転も再開できるまでに回復しました。

適切な治療・看護をしてくださった方々、当方を支援してくださった方々に改めて厚く御礼申し上げます。いまだ右指に麻痺が残っていますし、再発防止の薬を飲み続けている身ですが、残りわずかな在職期間に「有終の美」を飾ることができれば幸いに存じます。

(金沢医科大学学報 No.141 から転載、写真入れ替え)